

1人1台タブレット端末を活用し、 他者と考えを共有することで道徳性を高める学習

こんな生徒たちの姿が生まれました！

第3学年

郷土に息づく心にふれて

- 自分の考えをまとめ、主体的に郷土についての関心を高める姿がありました。
- 仲間と交流し、情報を共有化しながら自分の考えを説明することができました。

大型提示装置とタブレット端末による効果

導入時に島唄の映像資料と考えのまとめ方を大型提示装置で提示し、本時の授業の見通しをもてるようにする。



- ・ 本時の題材である島唄の映像資料を提示し、歌詞の意味や歌が生まれた状況など郷土に対しての生徒の理解と関心を高める。
- ・ 本時の授業の流れを提示し、授業の見通しを生徒がもてるようにする。

教師の指導のポイント

- 生徒が郷土に対しての理解や関心が高められるように、生徒と資料を共有する。
- 学習内容の全体像が捉えられるように、端末上の資料を大型提示装置に位置付ける。

協働学習支援ツールの活用による効果



自身の考えを表出しやすくなり、自分の考えをまとめやすくなる

- ・ 自分が郷土に対しての考えを単語や短文で書き留めることで自分の考えを捉えやすくなり、意見をまとめやすくなる。
- ・ 考えを書き留めたカードの順番を操作することで、推敲しながら文章としておこすことができ、より相手に分かりやすい文章にしやすい。

自分とは異なる考えに多く触れ、郷土に対する考えを多面的に見ることができる。

- ・ 協働学習支援ツールを用いて、生徒1人1人の考えを全体で共有することで、自分とは異なる考えに多く触れることができる。
- ・ 仲間の考えから郷土に対する考えを多面的に見ることができる。

教師の指導のポイント

- 郷土に対しての生徒の考えを画面で共有し、「〇〇さんの考え方はどうですか」などと、複数の異なる考えに着目させながら生徒の視野を広げられる発問をする。

